

市 政 報 告

最近の市政について報告いたします。

○ 普通交付税について

今年度の普通交付税は、51億6,613万6千円と算定され、前年度確定額（52億9,430万3千円）に対し、1億2,816万7千円、2.4%の減となっております。なお、臨時財政対策債の発行はありませんでした。

交付額の決定に伴い、歳入の補正予算案を今定例会に提出しております。

○ 令和7年度市税の状況について

今年度の市税の6月末現在の調定額のうち、個人市民税は、昨年度の調定額が定額減税の影響により抑えられたこともあり、前年同月比で約1億4,407万円（15.72%）増の10億6,052万円となりました。

固定資産税は、家屋の新增築や償却資産における新たな設備投資の増加などにより、前年同月比で約5,253万円（3.47%）増の15億6,563万円となっております。

軽自動車税（種別割）も、前年同月比で約76万円（0.91%）増の8,385万円となっております。

○ 市制施行20周年記念式典の開催について

令和7年10月1日、にかほ市は市制施行から20周年を迎えます。これを記念し、同日、仁賀保勤労青少年ホームにて「にかほ市市制施行20周年記念式典」を開催いたします。

平成17年の市制施行以来、にかほ市は、豊かな自然、歴史と文化、農業・漁業・工業などの地域産業、そして市民の皆さまの温かい支えにより、着実に歩みを進めて参りました。

今回の式典では、これまでの歩みを振り返り、これからの未来に向けて希望

と決意を新たにする機会とするとともに、長年にわたり市の発展にご尽力いただいた方々の功績をたたえる功労者表彰を行うなど、心を込めて式典を執り行います。

また、創業 90 周年を迎える TDK 株式会社の代表取締役 齋藤昇社長による記念講演も予定しております。

市民の皆さまとともに歩んできた 20 年を振り返り、これからのにかほ市のさらなる発展と、誰もが安心して暮らせるまちづくりへの思いを共有する大切な節目となるよう、準備を進めております。

○ 災害協定の締結について

6 月 25 日、東北電力ネットワーク株式会社本荘電力センターと、平成 24 年に締結した「災害時の協力に関する協定」の変更協定を締結しました。

今回の変更では、災害の未然防止を目的として、倒木による被害が懸念される樹木について、両者が連携して事前に伐採を行うことが新たに盛り込まれました。

また、7 月 31 日には、にかほグリーンエナジー合同会社と「災害時等における電源供給に関する協定」を締結しました。同社は奈曾川に小水力発電施設の建設を予定しており、災害などで市内が停電した際には、施設で充電した蓄電池 5 台を、近くの指定避難所 3 か所へ無償で貸与いただく内容となっております。

今後も、関係機関等との連携を強化しながら、災害に強いまちづくりの実現に向けて取り組んで参ります。

○ 白幡森周辺エリア整備・若者支援住宅の整備について

若者支援住宅整備事業設計建設工事請負契約につきましては、6 月定例会にて契約締結の議決をいただき、現在、令和 8 年 3 月末の完成・引渡しに向けて、設計を進めております。

若者支援住宅は公の施設に該当するため、にかほ市地域優良賃貸住宅条例を制定する議案を今定例会に提出しております。

○ 国際交流事業について

姉妹都市アメリカ・オクラホマ州ショウニー市から、中学生8名、引率者2名、そして5月に悪天候により訪問を延期していた大人訪問団2名を含む、計12名が、7月31日から8月5日までの5泊6日の日程で本市を訪れ、交流を行いました。

訪問団は、市内7家庭にホームステイし、仁賀保中学校や市役所の訪問、TDK歴史みらい館、フェライト子ども科学館、仁賀保高原の見学、ボートクルージング、竿灯まつりなど、様々な体験を通じて、ホストファミリーや市内の中学生をはじめ多くの市民と交流し、相互の友好関係を深め、無事に帰国しております。

また、ショウニー市への訪問については、市内の中学生24名から応募があり、7月24日に選考会を実施し、10名の訪問団員を決定しました。10月22日から29日までの派遣に向け、間もなく研修を開始することとしております。

○ 移住・定住の促進に向けた取組みについて

7月12日、県沿岸部の男鹿市、潟上市、由利本荘市、にかほ市の4市合同による初の移住イベント「秋田うみまち移住サミット」を、東京都内のJOIN移住・交流情報ガーデンで開催しました。

会場には海沿いでの暮らしに関心を持つ方など14組19名が来場したほか、YouTubeでも同時配信しました。

翌13日には、「東北移住&つながり大相談会」が開催され、本市では鳥海山と日本海に囲まれた自然豊かな環境の中で、暮らし・子育て・仕事の充実が図れることをPRし、お試し移住体験を勧めております。

会場では、20代から70代までの幅広い年代の11組19名の方々から、住まいや空き家の情報、仕事、生活環境に関する疑問や不安についてご相談をいただきました。

今後も、ふるさと回帰フェアなど都内で開催される移住関連イベントに積極的に参加し、引き続き、本市への移住・定住の促進に取り組んで参ります。

○ 戸籍のフリガナ記載について

令和7年5月26日施行の改正戸籍法により、一人ひとり、戸籍にフリガナが

記載されることとなります。これにより、データ検索の効率化などのメリットが見込まれます。

本市では、全国の住民基本台帳情報から紐付けされたフリガナが記載されたハガキ1万5,322通を、戸籍単位で7月末に発送しております。通知書に記載されたフリガナが正しい場合は、届出の必要はありませんが、誤りがある場合は、令和8年5月25日まで訂正の届出が必要となります。

戸籍のフリガナ記載は、全国民が1年という限られた期間内に対応する大きな事業となるため、市民の皆さまからのご質問やご相談に、丁寧かつ迅速に対応して参ります。

○ 敬老式について

今年度の敬老式は、ホテルエクセルキクスイを会場として、計4回、開催する予定です。

9月24日に「院内・小出・釜ヶ台地区」、26日に「平沢地区」、29日に「象潟地区」、10月3日は「上浜・上郷地区と金浦地区」とし参加者数などを考慮し合同で開催することとしております。

対象者数は昨年度より106人多い5,454人となっており、8月8日現在の参加申込者数は685人(12.6%)となっております。

昨年同様、参加者から喜ばれる敬老式にして参ります。

○ 総合福祉交流センター改修工事について

総合福祉交流センター「スマイル」は、市の保健・福祉・子育て支援の中核施設として機能していくため、長寿命化改修工事をはじめ、こども家庭センター事務室等の整備工事や、照明のLED化改修工事を計画しております。

工事期間中は、騒音の発生や出入口の制約などにより、貸館の利用に一部影響が生じる場合があります。市民の皆さまには、ご不便をおかけしますが、工事の進捗状況は、広報やホームページ等を通じて周知しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

長寿命化改修工事に係る契約議案や、照明のLED化改修工事費の補正予算案などを、今定例会に提出しております。

○ 農産物の状況について

今年の稲作は、田植え以降、気温の低い日や日照不足の日が多く、例年に比べて生育が遅れ気味に推移し、茎数が少なく、草丈が長い傾向が見られました。しかし6月以降は晴天と高温により回復傾向となり、出穂は例年より早く進んでいます。

一方で、出穂時期の8月上旬まで降水量が少ない状況が続いたため、ほ場によっては品質への影響や、高温によるカメムシなどの病害虫被害なども懸念されております。

野菜については、春先の低温とその後の高温少雨の影響により、主力であるアスパラガスなどの出荷量がやや減少しています。

今後も気象状況や病害虫の動向に注意しながら、農作物の安定した生育・出荷に向けて対応して参ります。

○ ツキノワグマの出没について

今年も県内各地でクマの目撃が相次いでおり、目撃件数が例年を大幅に上回っていることから、秋田県では5月8日に発令した「ツキノワグマ出没警報」を9月30日まで延長しています。

本市においても、8月末現在で目撃件数は77件に達しており、過去5年間で最多となっております。

また、東北森林管理局が7月11日に発表したブナの結実予測によると、秋田県では令和5年以来2年ぶりに、ほとんどの木が結実しない「大凶作」となっており、令和5年には9月以降に目撃件数が急増しております。

近年では、集落周辺に定着する個体が増えていると推測されており、今後も、市民への注意喚起を継続して参ります。あわせて、にかほ幹部交番、消防署、猟友会と連携し、情報提供やパトロールを実施するほか、人身被害防止のため、罠の設置による対応も進めて参ります。

○ プレミアム商品券事業について

物価高騰の影響を受け続けている市民の消費を下支えするとともに、市内経済の活性化を目的として、商工会が7月13日より販売を開始したプレミアム率20%の「にかほ市プレミアム付き共通商品券」は、8月5日までに完売し、

総額にして 2,700 万円分が市内で流通しております。

さらに、10 月 1 日からは、プレミアム率 30%の「にかほ市プレミアム付きモバイル商品券」がスタートします。

1 人あたり最大 3 万円まで購入可能で、総額 5,720 万円分が市内で消費される見込みです。

利用可能店舗は、コンビニエンスストア等の一部店舗を除き、大型店を含めた市内の PayPay 取扱店で利用できます。

詳細については、広報 9 月 15 日号の折り込みチラシで周知いたします。

○ 市内の雇用状況について

6 月末現在のハローワーク本荘管内の有効求人倍率は 1.07 倍となっており、前年同月比で 0.06 ポイント上昇しております。

有効求職者数は、前年同月比で 92 人（5.9%）の減少、有効求人数は前年同月比で 5 人（0.3%）の減少となっております。

職種別の有効求人倍率では、建設関係 5.32 倍、医療福祉関係 2.28 倍と高い一方、事務関係 0.56 倍、運送・清掃・包装業 0.35 倍と職種によって求人状況に大きな差が見られます。

また、秋田労働局が発表した県内の雇用情勢では、「地域経済の持ち直しの動きに弱さが広がっており、物価上昇等の景況により一部に厳しさが見られる」として、4 か月連続で基調判断が据え置かれております。

今後も、管内における雇用動向に注視して参ります。

○ 高校生の就職状況について

来春に卒業予定の高校生に対する求人受付が、6 月 1 日よりハローワークで開始されました。ハローワーク本荘管内の 6 月末時点の受付状況は、求人数が前年同期比で 64 人減の 381 人、求人を提出した事業所数は 4 社増の 82 事業所となっております。

管内の高校卒業予定者数は前年比 9 人減の 651 人で、そのうち就職を希望する生徒は、前年比 6 人減の 229 人となっております。

就職希望者の割合は前年とほぼ同水準の 35.2%で、就職希望地については、県内が 186 人、県外が 43 人で、県内就職希望率も前年と同程度の 81.2%とな

っております。

また、多くの事業所において高校新卒者の採用意欲が高く、求人倍率は1.66倍となっております。

就職希望者の地元志向も強い傾向が見られることから、一人でも多くの高校生が地元で就職できるよう、引き続きサポートを行って参ります。

○ 市内の経済状況について

4月から6月までの本市景況調査では、調査対象の68社のうち76%にあたる52社から回答がありました。

全体の傾向としては、前年同期と比較して「好転」12社、「横ばい」19社、「悪化」21社となり、全ての業種でD I値がマイナスとなっております。

業種別に見ると、卸売・小売・サービス業において、前年同期比では「横ばい」6社、「悪化」4社、前期比では「好転」2社、「横ばい」3社、「悪化」5社となっており、いずれもD I値がマイナスで、前回調査より悪化傾向が見られます。

一方、製造業では、前期比で「好転」6社、「横ばい」12社、「悪化」4社となっており、D I値がプラスに転じました。今後の業況見通しについても、22社中「好転」6社、「横ばい」12社との回答があり、明るい兆しが見え始めております。

○ 若者の地元定着について

6月10日、ハローワーク本荘、由利地域振興局、由利本荘市等との共催で、本荘由利管内の高校3年生を対象とした「高卒企業情報説明会」を開催しました。

参加した管内企業97社の人事担当者から、企業概要や求人情報などの説明があり、地元就職を目指す生徒にとって貴重な機会となりました。

また、8月6日、22日には「夏休み親子職場見学会」を開催し、市内の小中学生の親子など延べ11組26人が参加しました。製造業や建設業、福祉施設など12事業所を見学し、地元の仕事や職場環境について理解を深める機会となりました。

○ 各種イベントの開催状況について

7月12日、13日、にかほ市イベント実行委員会の主催による「にかほ夏フェスティバル」が、道の駅エリアで開催されました。

イベントでは、本市出身の「あきた芸者」和丸さんによる踊りや、超神ネイガーショー、モンベルと連携したE-bike 試乗会、音楽ライブが行われ、2日間で約4,500人の来場者で大いに賑わいました。

また、12日土曜日には、夜8時まで「ナイトキッチンカー」も開催され、市民や旅行者など、多くの方々に楽しんでいただきました。

さらに8月23日には、象潟海水浴場を会場に「2025にかほの花火」が開催され、様々な屋台やキッチンカーなどが並び、こちらも多くの来場者で賑わいました。

○ スポーツイベント等の開催状況について

6月28日、29日、「第45回全日本バレーボール小学生大会 秋田県大会」が、象潟体育館と象潟中学校体育館を会場に開催されました。

本市での開催は13年ぶりとなり、県内各地区から勝ち上がった33チーム、約500人の選手・スタッフが集い、全国大会出場を目指して熱戦を繰り広げました。

また7月20日には、「第35回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会」が開催され、全国各地から118人の選手が参加し、当日は快晴にも恵まれ、6年ぶりに全ての種目が実施されました。今大会からは、秋田県民スポーツ大会トライアスロン競技として位置付けられ、国民スポーツ大会の秋田県代表選手を選考するレースとなりました。また、仁賀保高校全校生徒をはじめ、多くのボランティアスタッフが大会を支え、スポーツを「する・観る・支える」機会となりました。

○ リベリア共和国とのスポーツ・文化交流について

8月26日、「大阪・関西万博」にて開催されたリベリアナショナルデーに、本市から高校生を中心とした訪問団が参加しました。

仁賀保高校の生徒5人は、公式行事への出席やリベリア共和国のブースを見学し、また、市内在住の高校生3人は、リベリアのダンサーと創作したダンス

パフォーマンスを披露し、国際交流の場を盛り上げました。訪問団にとっては、異文化に触れると同時に、日本の魅力も再認識する貴重な機会となりました。

さらに、9月19日、20日には、「東京2025世界陸上競技選手権大会」に出場したりベリア共和国の選手・コーチが本市を訪問し、小学生や市民との交流を予定しております。

今後も、スポーツや文化を通じた国際交流の促進に取り組んで参ります。

○ 小砂川海岸でのカヌー&サップ体験会について

7月12日から8月10日までの土日の計4日間にわたり、小砂川海岸でカヌーとサップの無料体験会を実施しました。県内外から延べ332人が参加し、ほとんどの方が初めての体験ながら、透明度の高い海や美しい風景を満喫しながら楽しんでいました。

また、8月19日には、本荘由利管内の観光事業者等を対象とした体験会を開催しており、今後もパドルスポーツを活用した観光誘客の促進に取り組んで参ります。